

第2回情報システム学会シンポジウム

日時：平成21年7月11日(土) 13時～19時30分(懇親会含む)

「情報システム人材の育成—感性と論理の新たな対話を求めて」

場所：慶応大学日吉(来往舎) <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html>

「協賛」情報処理学会(情報システム教育委員会、ソフトウェア工学研究会、情報システムと社会環境研究会)
経営情報学会

『重要なテーマの一つである人材育成について、皆様とともに議論をして方向性
を見つけていきたいと思えます。

会員の皆様はもちろん、会員でない方も是非奮ってご参加ください。』

1. 基調講演 (13時～14時)

(講演題目はテーマ名と同じ)

佐伯 昶 青山学院大学社会情報学部教授、東京大学名誉教授

『要旨』ケンブリッジ大学のサイモン・バロン＝コーエン教授によると、人間の脳には、主に男性脳において優勢的な「合理的システム化」思考の機能と、女性脳において優勢的な「協調・共感」思考の機能の二つがある。男性優位に進められた近代科学と産業組織は、論理性と経済性を焦点化する「システム化」思考のみを重視してきたが、それによって周辺の人や物、状況の変化に対応する気配りや感性の情報取得とその処理が置き去りになってきている。講演では、アフォーダンス知覚や状況論をベースとした「共感システム処理」と、論理性と経済性を追求する「合理的システム処理」の相互対話こそが重要であることを明らかにする。

2. 講演 (14時～15時)

(1) 「**実践知としての情報システムを考える～問題感知力を磨き、情報を読み解くための論理的思考力とコミュニケーション力を身につける**」

小林 義人 エム・スクエア代表取締役(当学会・元人材育成委員会委員)

(2) 「**のようなもの ～例を通じた学習の効果は？～**」

江島 夏実 コンピュータ教育工学研究所代表取締役(当学会・研究会主査)

3. パネルディスカッション (15時30分～17時30分)

「今後の情報システム教育の進むべき方向について」

○モデレータ：岩崎 慎一 朝日ネット主任研究員(当学会理事)

○パネリスト：佐伯先生、小林氏、江島氏

終了後、懇親会：グリーンズ・マルシェ(～19時30分)

参加費	プログラム	会員	無料	非会員	¥2,000
-----	-------	----	----	-----	--------

	懇親会	会員	非会員とも	¥2,000
--	-----	----	-------	--------

企画・運営：情報システム学会研究普及委員会など

参加申込及びお問い合わせは、issj@nuis.ac.jp までお願いします。

